

「長野市中心市街地まちなか居住促進調査」業務委託 評価基準

1. 調査実施の趣旨

中心市街地の活性化には居住人口の増加が不可欠であることから、本調査事業では、様々なアプローチや方策から中心市街地に人を呼び戻す仕組みづくりを検討する。主な内容は、いくつかの具体的な地域を選定し、その地域に適した居住人口増加のための事業モデルプランを作成する。その事業モデルをシミュレーションすることで自治体・民間の役割を確認し、モデルの事業化に向けた取組みに繋げていく。

2. 落札者の決定方法

次の要件を満たしている者のうち、まちなか居住促進検討会議の委員の多数決により、評価が最も高い者を落札者とする。なお、評価が同数であった場合は、入札価格の低い方を落札者とする。

- ① 入札価格が予算限度額（４５０万円（税込））の範囲内であること。
- ② 業務委託仕様書の内容をすべて満たしていること。

3. 評価基準

- ① 業務委託仕様書の内容に沿って、より実現性の高い魅力的な事業モデルプランが複数提案できる事業者であるか。
- ② 事業モデルプランが地区別モデルの他、多角的な提案がされているか。
- ③ 事業モデルをシミュレーションするための基礎的な調査を行う準備があるか。